

はじめに

鎌倉市では、平成12年度にスタートした鎌倉市図書館サービス計画における「Ⅲ市民とともに創るサービス」の取り組みの一つとして、年度ごとの事業を、この「鎌倉市の図書館」という形でまとめています。平成23年度の「鎌倉市の図書館」ができましたので、ここにお届けします。どうぞご覧ください。

平成23年は、鎌倉市図書館開館100周年となる記念すべき年でした。記念誌である『鎌倉図書館百年史』の最終校正が終わり、ほっとしたまさにその翌日の、平成23年3月11日に、東日本大震災が発生しました。鎌倉市の図書館でも大きな揺れを感じ、本が落下する被害が出たものの、幸いけが人はありませんでした。しかしその後も続く余震と計画停電の影響で、4月中は夜間開館を中止するなど、落ち着かない春を過ごしました。多くの市民が「情報」と安心を求め、図書館を訪れていたことがとても印象的でした。

夏の初めの7月20日、鎌倉市図書館開館100周年記念式典を予定通り行うことができました。当日は台風が接近しており、お天気も心配されましたが、実行委員会の市民委員をはじめ各方面の方々のご支援、ご協力をいただき、無事に執り行うことが出来ました。

秋には、これまで市民協働事業として行われてきた「ファンタスティック☆ライブラリー」を主催行事として継続して開催しました。中央図書館じゅうたんコーナーには、100周年を記念する大きな絵が完成しました。

また、図書館振興基金条例が成立したことも大きなトピックです。

冬には、100周年記念誌を作成する過程で発見された貴重資料の整理、保存事業を、緊急雇用創出事業を活用して行いました。

鎌倉市図書館は、100年の歴史の中で、関東大震災を経験しています。当時倒壊した図書館から救い出された多くの本が、今なお地下書庫で保存され、利用されています。東日本大震災は、後世への資料保存の大切さを改めて考える年にもなりました。

この「鎌倉市の図書館」が、図書館活動を評価し、図書館をより使いこなしていただくための資料として多くの方にご活用いただければ幸いです。そして、多くのご意見・ご要望を図書館にお寄せいただき、市民の皆さんとともに、成長する有機体として、よりよい図書館を目指していきたいと考えています。どうぞよろしく願い申し上げます。